

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (2001年12月25日~ 2002年1月25日分)

ネットレイティングス、ブロードバンド・ユーザーの利用動向データ提供を開始

ネットレイティングスは、2002年1月30日よりブロードバンド・ユーザーの利用動向などを分析する「Internet Media Strategies (インターネット・メディア・ストラテジズ:以下IMS)」を新サービスとして提供開始すると発表した。

新サービスのIMSは、ADSLやCATVなどブロードバンド・インターネット・サービスへの加入者急増を背景に提供される。

Nielsen/NetRatingsでは接続スピード128Kbps未満をナローバンド、128Kbps以上の常時接続をブロードバンドと定義づけており、IMSでは主に以下のような情報サービスメニューが提供される

- ・全国、地域別のブロードバンドの普及状況
- ・ウェブサイトごとのブロードバンド/ナローバンド・ユーザー訪問比率
- ・ストリーミングメディアタイプ別の利用状況

最新のIMS12月度月間データによると、ユニーク・オーディエンス数は約360万人。割合としてはナローバンド・ユーザーの20%にも満たないものの、ブロードバンド・ユーザーの一人当たりの月平均ウェブ利用時間は17時間45分で、ナローバンド・ユーザーの月平均利用時間の7時間24分を2倍以上上回っている。

また、一人当たりの月平均利用ページ数は3倍という結果となっている。

(1/25)

ブロードバンドシティ太田、無線LANネットワーク接続実験サービスを開始

群馬県太田市の出資する第三セクター「ブロードバンドシティ太田(BBCO)」は、太田市庁舎1階ホールに無線LANによるホット

スポットを開設、無線LANネットワーク接続実験サービスを開始した。

期間は2002年1月21日から3月29日まで。月曜日~金曜日のAM9:30からPM4:30まで市民に開放され、ノートパソコンもしくはPDA等の端末と無線LANカードがあれば、BBCOのADSL回線を通じてインターネットを自由に利用できる。

太田市では、今回の実験サービスを通して将来的に市内の多くの場所に無線LANアクセスポイントを設置し、いつでもどこでもネットワークサービスが利用できる「ITタウン」の実現を目指すとしている。

(1/24)

MP3.com、pressplayの音楽配信サービスに参加

pressplayは、MSN、Roxio、Yahoo! Musicに続く第4の提携先としてMP3.comがpressplayの会員制音楽配信サービスの提供を開始したと発表した。

pressplayはSony Music EntertainmentとUniversal Music Groupの合併事業。2社に加えて、EMI Recorded Music、Madacy、Matador、Navarre、OWIE、Razor & Tie、Roadrunner、Rounder、Sanctuaryといったレーベルが楽曲を提供している。

現時点では米国内のみのサービスとなっている。

音声圧縮方式にはWMAを採用、配信される楽曲はWindows Media Technologiesの著作権管理技術で保護されており、RoxioのCD-R書き込み技術により、料金プランによって回数制限ながらCD-Rへの書き込みも可能となっている。

(1/23)

J-COM Broadband、12月末の加入世帯数を発表

ジュビターテレコム(J-COM Broadband)は、同社が運営するケーブルテレビ局(12月末現在J-COM Broadband局21社)の総加入世帯数(ケーブルテレビ、電話、高速イン

ターネット接続サービスのうち、少なくとも一つのサービスに加入している世帯数)を、2001年12月末現在で129万800世帯と発表した。

総加入世帯数は2000年12月末実績に比べ、42万5100世帯(49%増)の伸びとなっている。うち、高速インターネットサービスについては32万700世帯、前年同時期と比べ17万9200世帯(127%増)の増加となった。

高速インターネットサービスは、2001年第4四半期(10月-12月)の純増数も4万6900世帯と加入世帯数は順調に伸びており、品質の高いサービスと充実したカスタマーサービスにより、ADSLの影響は特に受けることなく順調で安定した純増数を維持することができたとしている。

(1/23)

Boingo Wireless、全米でホットスポットサービスを開始

Boingo Wirelessは、Wi-Fi IEEE802.11b)を採用し、主要なホテル、空港、カフェなどで利用できる高速無線インターネット接続サービスを全米で開始すると発表した。

Boingo Wireless serviceは出張の多いビジネスマンや旅行者向けに出張先でもストレスのない高速なインターネット接続サービスを提供しようという会員制サービス。Wi-Fi(IEEE802.11b)をベースにしているため最大11Mbpsの通信サービスが利用できる。

今回のサービス開始時点でホットスポットは約400ヶ所用意されている。主なホットスポットは以下の通り。

- ・空港: Dallas/Fort Worth (DFW)、Austin-Bergstrom (AUS)、San Jose (SJC)、Seattle-Tacoma (SEA)
- ・ホテル: Four Seasons、Hilton、Marriott、Sheraton、Radisson、Wyndham hotels

また、San Francisco、St. Louis、Jacksonville、Fla、Austinといった都市には「Free community」という無料サービスを提供するスポットが設置される。

さらに第 2 段階では、Atlanta-Hartsfield (ATL)、Chicago-Midway (MDW)、Philadelphia (PHL)、Baltimore-Washington (BWI)、Washington-Dulles (IAD)、Boston Logan (BOS)などの空港、ホテルに加え、カフェもホットスポットとして準備されている。

サービスプランは 3 つ。料金とサービス内容は以下の通り。

- ・Boingo Pro : 月額 24.95 ドルで月に 10 日までのアクセス。追加は 1 日当たり 4.95 ドル
- ・Boingo Unlimited : 月額 74.95 ドルでアクセス無制限
- ・Boingo As-You-Go : 月額料金は無し。日額 7.95 ドル

また、ユーティリティソフトウェアとして Boingo Software version 1.0 も発表されている。無料でダウンロードでき、ホットスポットを検索して出張や旅行の計画を立てたり、ワンクリックでログオンでき、「Personal VPN」によって安全な通信が利用できるなど Boingo 会員には便利な機能が提供されている。

なお、Boingo 会員でなくとも Wi-Fi ユーティリティとして利用できる。

(1/22)

Midbar、オーディオ CD の複製防止技術をバージョンアップ

Midbar は、オーディオ CD の複製防止技術「CDS (Cactus Data Shield) -200」の新バージョン、「CDS-200.0.4」を発表した。

Midbar の CDS は、オーディオ CD に記録されている信号をわずかに変化させ、複製を防止する技術。新バージョンでは、互換性の向上およびコンテンツプロバイダー向けに提供されているプレーヤーカスタマイズツール、Skin Builder、Info Builder の改善が図られている。

Midbar では、主要レーベルと共同で「CDS-200.0.4」の厳しい検証を繰り返し、その結果、CD プレーヤー、カーステレオ、携帯型 CD プレーヤー、DVD プレーヤー、パソコン、プロ向けオーディオシステムといっ

た広範囲な機器でほぼ 100%の再生を確認した。また、元の音質も維持しているという。

現在までに CDS を採用したオーディオ CD は欧米にて 800 万枚以上出荷されているという。

また、Midbar では、2002 年第 1 四半期に「CDS-300」をリリースすると発表した。

CDS-300 では、CDS-200 に加え、ハードディスクやポータブルプレーヤーなどにダウンロードしたコンテンツをセキュアな環境下で再生可能とする DRM をサポートする。

(1/21)

Macrovision、オーディオ CD の複製防止技術をバージョンアップ

Macrovision は、オーディオ CD の複製防止技術「SAFE AUDIO」の新バージョン、「SAFEAUDIO Version 3」を発表した。

SAFE AUDIO は、音楽 CD 向けの 100%ソフトウェアベースのオーディオ複製防止ソリューション。Macrovision と TTR Technologies が共同で開発している。

Version3 での新機能は以下の通り。

・「AudioLok」技術(特許出願中)により、異なるレベルでの複製防止とセキュリティをトラック単位で設定可能

・PC やオーディオプレーヤーのユーザー向けに提供されているサードパーティー製著作権管理 (DRM) 技術とマルチセッション CD をサポート

・既存の生産ラインの増設や変更が不要なマスタリング、検証ツールの拡張

Macrovision では SAFE AUDIO リセラープログラムにより、CD プレス業者を通じて音楽レーベルなど彼らの顧客向けに SAFEAUDIO V3 をプレスサービスとのシングルソースで提供するとしている。

(1/21)

日本通信も 128kbps サービスを 3 月 26 日にスタート

日本通信は、2002 年 3 月 26 日より DDI ポケットの 128kbps サービスを開始するのに伴い、b-mobile プリペイドサービスも同日に 128kbps サービスを開始すると発表した。

b-mobile プリペイドサービスで現在提供されている PHS カード「BMH-10J」はそのまま 128kbps サービスでも利用でき、128kbps 用ファームウェア及びマニュアルアップデートが近日中に日本通信のサイトに掲載される予定。

また、日本通信では b-mobile プラットフォームにアクセラレーターサーバーを置き、Web ベースのコンテンツを圧縮して受信させることにより実効的に通信速度を最大 50% アップするアクセラレータ機能を提供している。

これにより、128kbps サービスでは相対的に最大 200kbps の通信速度を実現できるとしている。

(1/19)

ソニー、HDD 内蔵オーディオシステムを発表

ソニーは、HDD を内蔵し OpenMG メモリースティックスロットを搭載したハードディスク・デスクトップ・オーディオシステム「DAN-Z1」を発表した。2002 年 2 月発売予定。オープン価格。

DAN-Z1 は 6GB の HDD を内蔵。音楽 CD を ATRAC3 形式で保存することができる。ビットレートは 105kbps と 132kbps から選択可能。

CD プレーヤーは最大 8 倍速のドライブを搭載。平均 5 倍速で音楽 CD を HDD に保存できる。著作権保護技術 OpenMG を搭載しており、著作権を保護しながら HDD への録音し、マジックゲートメモリースティックやネットワークウォークマン等への転送を行い、不正コピーを防止する。

メモリースティックスロット搭載しており、HDD から音楽データをマジックゲートメモリースティックに転送することができ、

マジックゲートメモリスティック対応のネットワークウォークマンやパイオ、クリエで再生することができる。なお、対応している MG メモリスティックの容量は、32MB/64MB/128MB の 3 タイプ。

さらにウォークマン接続端子と呼ばれる専用 USB 端子を備えており、Net MD 規格対応の MD 録音機、ネットワークウォークマン、パイオミュージッククリップと接続して音楽データを高速で転送することができる。

HDD 内には日本で発売された CD ソフト約 8 万 5 千枚分の CD タイトルデータベースを内蔵しており、合致する CD をセットすると「アルバム名・アーティスト名・曲名」が自動表示され、HDD に録音時に記録される。また、記録した曲をよく聴く順番やアルファベット順への並べ替え、フォルダを作ったの整理も可能。

本体は約 130x130x110mm、1100g の小型筐体。入力端子には光デジタル入力/アナログ入力兼用の AUX IN 端子を備える。

(1/19)

DDI ポケット、128kbps サービスを発表

DDI ポケットは、128kbps ポケット通信サービスについて 2002 年 3 月 26 日（予定）よりサービスを開始すると発表した。

DDI ポケットでは、2001 年 6 月より 32kbps ポケット通信サービスの提供を開始しており、今回 1 基地局あたり最大 32kbps のポケット通信を 4 つ束ねることにより、下り方向最大 128kbps / 上り方向最大 68kbps でのデータ通信サービスを実現可能とした。通信方式は、「128k ポケット方式」となる。

128kbps ポケット通信サービスは、現在提供されている 32kbps ポケット通信サービス AirH「つなぎ放題コース」のオプションとして提供される。オプション名は『オプション 128』で、オプション料金は、月額 3,500 円。

なお、オプション料金部分については、年間契約割引、長期利用割引等の割引適用対象外となる。

サービスエリアは、現在提供されている「データ通信サービス AirH」の利用可能エリアがそのままサービス対象エリアとなる。

128kbps 対応の端末は、通信機能内蔵 PC カード「AH-G10」（本多エレクトロニクス製）が 2002 年 1 月 25 日より発売される。

対応プロバイダは PRIN がサービス開始当初から利用可能となるほか、AirH「つなぎ放題コース」に対応しているプロバイダを中心に、対応開始時期の調整を行っていくとしている。

また、2002 年 2 月 26 日より一般ユーザー向けに先行試験モニターサービスが実施される。募集人数は 1,500 名。先行試験期間内はオプション料金が無料となる。

(1/18)

日本航空電子、USB リーダ・ライターモジュールを SD カードの著作権保護技術に対応

日本航空電子工業は、2001 年より販売していた SD メモリカード用 USB リーダ・ライター基板モジュールを、SD メモリカードの著作権保護技術として「3C-LLC」より提唱されていた「SD Secure API」に準拠させたと発表した。

SD Secure API は、オーディオプレーヤーなどの設計自由度を向上し、SD 関連機器の普及を促進する目的で設計されたもので、規格仕様と組込み用ソフトウェア（デバイスマネージャ）が公開されている。

日本航空電子では SD Secure API に準拠した USB デバイスドライバを開発、デバイスマネージャとの接続互換を確認し、販売を開始した。

これにより、SD Secure API に準拠するオーディオ編集ソフトウェアに接続して「SD Audio」の音楽ソフトを、日本航空電子の USB リーダ・ライターで直接記録することが可能になった。

現時点で SD Secure API に準拠するオーディオ編集ソフトウェアは松下電器産業の「SD Juke Box」と東芝の「Audio Manager」。

また、Windows XP への対応についても、

USB ストレージクラスの WHQL のロゴ取得を完了し、すでに一部 PC メーカーに向け供給を開始している。

(1/17)

米 Rioport、音楽配信システムに地理情報技術を導入

Rioport は、同社のデジタル音楽配信サービス PulseOne Service に Digital Envoy の地理情報技術「NetAcuity」を導入すると発表した。

Rioport の PulseOne Service は、小売りサイト、ブロードバンド事業者、無線ネット事業者、コンシューマー機器メーカーなどパートナー企業に対して各ブランドで顧客に対しデジタル音楽の配信サービスを展開できるシステムをアウトソーシングとして提供している。

Digital Envoy の地理情報技術「NetAcuity」は、世界中のインターネットユーザーの接続速度と所在地を都市レベルで確定することのできる技術。

今回、Rioport の PulseOne Service に NetAcuity を導入することによって、Rioport はレーベルなどコンテンツ提供者との配信契約において北米のみ、ヨーロッパのみといった地理的な制限事項に対応することができる。

(1/17)

東芝、1.8 インチ大容量 HDD を発表

ソニーは、1.8 型の小型磁気ディスク装置の新製品として、20GB の大容量を実現した「MK2003GAH」と 10GB モデル「MK1003GAL」を開発し、2002 年 2 月から順次、量産を開始すると発表した。

新製品は、モータや LSI パッケージなどの薄型化や高密度実装技術の採用などにより、幅 54mm 奥行き 78.5mm 厚さ 8mm のコンパクトサイズに 2 枚のプラッターを内蔵、20GB の大容量化を実現している（「MK2003GAH」）。プラッターが 1 枚の 10GB モデル「MK1003GAL」は、同じ大き

さて厚さ 5mm。

さらに、3.3V 駆動でローパワーアイドル時 0.4W の低消費電力を達成するとともに、アイドル時 24dB の静音設計となっている。

これらの特長により、新製品は、ノート PC をはじめとして、ミニノート型やタブレット型、ウェアラブル型などの携帯型 PC、携帯 AV 機器、携帯情報端末など、バッテリー駆動の各種モバイル製品での幅広い応用が見込まれるとしている。

(1/17)

MIS、『街角無線インターネット』実証実験エリアを拡大

モバイルインターネットサービス (MIS) は、『街角無線インターネット』実証実験エリアに森ビルが運営管理するアークヒルズ、時間貸し駐車場「タイムズ」、第一ホテル東京を追加すると発表した。

今回追加されたエリアは以下の通り

第一ホテル東京 東京都港区新橋 1-2-6
ロビー (1 階) 宴会場ブリマヴェーラ I・II (4 階) プルミエールラウンジ (20 階・VIP 専用) カフェ・ポナール (第一ホテル東京隣)
実験期間: 2002 年 1 月 11 日 ~ 2002 年 3 月 (予定)

第一ホテルアネックス 東京都千代田区内幸町 1-5-2
ロビー (1 階) ゲストラウンジ (3 階)
実験期間: 2002 年 1 月下旬 ~ 2002 年 3 月 (予定)

タイムズ上馬第 6 東京都世田谷区上馬 2-31
タイムズ下馬第 4 東京都世田谷区下馬 2-20
実験期間: 2002 年 1 月 16 日 ~ 2002 年 3 月 (予定)

タイムズ下馬第 2 東京都世田谷区下馬 1-40
タイムズ下馬第 3 東京都世田谷区下馬 1-31
実験期間: 2002 年 1 月下旬 ~ 2002 年 3 月 (予定)

アークヒルズ
アークカラヤン広場
アーク森ビル 1 階ロビー
実験期間: 2002 年 1 月 16 日 ~ 2002 年 3 月 (予定)

MIS は、今後もホテルやオフィス街ならびに駅などの公共エリアにおいて実証実験エリアの拡充をすすめていくとしている。

(1/17)

米 Jupiter Media Metrix、2006 年の米音楽配信市場では 2/3 が会員制サービスと予測

米 Jupiter Media Metrix は、アメリカのデジタル音楽配信市場は 2006 年に 16 億ドル、うち 10 億ドル、約 63% が会員制サービスになると予測したりポートを発表した。

Jupiter Media Metrix のアナリストによれば、会員制のデジタル音楽配信サービスは 2003 年末までに確立されるとしている。小売業者とメディア企業の市場における主導権争いが活発化し、結果的にサービスの充実がもたらされ、2006 年には会員制サービス、楽曲ごとの販売サービス合わせて 160 億ドル市場に成長すると予測している。

音楽 CD パッケージの E コマースを含めたオンライン音楽市場について、Jupiter Media Metrix は 2001 年 7 月の発表で 2006 年に 62 億ドルになるとしていたが、今回、この数字を 55 億ドルに下方修正した。この要因について、Jupiter Media Metrix では音楽市場全体に対する消費支出の減少と会員制音楽配信サービスの立ち上がりの遅れを挙げている。

(1/17)

マイクロソフト、Mac OS X 用 Windows Media Player 日本語版発表

マイクロソフトは、Mac OS X 用のメディアプレーヤー「Windows Media Player for Mac OS X」の日本語版を発表した。

Windows Media Player for Mac OS X は、Mac OS X ネイティブで動作する Carbon API で作られており、多重処理や Aqua イン

ターフェイスなどの機能を搭載している。

コーデックは最新の Windows Media Audio 8 / Video 8 をサポート、Windows Media Digital Rights Management の著作権保護方式にも対応している。

6 ヶ国語に対応し、オーディオ再生用のミニプレーヤースキンを含め、3 種類の「スキン」が付属する。

2002 年 1 月 16 日から同社のサイトで無償ダウンロード可能となっている。対応 OS は Mac OS X ver.10.1 以上、Microsoft Office v.X for Mac にも同梱される。

(1/16)

松下、Net MD 対応ミニコンボを発表

松下電器産業は、Net MD に対応した MD ステレオシステム「SC-SV1」を 2002 年 2 月 10 日より発売すると発表した。価格はオープン。

SC-SV1 は、パソコン上の音楽データを USB 接続で MD に高速録音 (チェックアウト) できる MD 規格 Net MD に対応。著作権保護技術「OpenMG」を採用し、音楽配信サイトからダウンロードした曲も、MD に録音可能となっている。

フロントスピーカーには、回折音や設置面からの反射音による位相干渉を低減する小型キャビネットとスピーカースタンド構造を採用。

本体部分はアンプ、CD プレーヤー、FM/AM チューナー、MD プレーヤーを搭載。縦・横置き可能でパソコンと組み合わせてセッティングすることができ、設置方向に合わせて液晶表示画面も切り換わる。

サブウーハーも低音域の指向性が少ないため、机の下などデッドスペースに設置することができ、更に設置の自由度を増している。

付属ソフトウェアにはジャストシステム製の Net MD 対応のデジタルオーディオソフト「BeatJam」を採用。パソコン側と MD 側の音楽ファイルを並べて見られるダブルディスプレイや、大きなチェックイン、チェックア

ウトボタンの採用でわかりやすく簡単な操作を実現している。

「BeatJam」は CD 情報データベースサービス CDDDB2 に対応し、邦楽 CD の日本語タイトルも手軽に取得できる。また、カタカナしか表示できない多くの MD 機器のために、ジャストシステムの日本語技術により、入力・編集した全角（漢字・ひらがな）のデータを半角（英数・カタカナ）にボタンひとつで変換する「カナ変換」機能を新たに搭載している。

さらに OpenMG 形式ファイルはもちろん、MP3、WAVE 形式のファイルも OpenMG 形式に変換することで、MD への録音が手軽にできるようになっている。

また、「BeatJam」から音楽配信サイトにアクセスし、ストリーミングコンテンツを視聴できる「BeatStream /R.2」を搭載。従来までの Windows Media ファイルのストリーミング再生に加え、RealMedia フォーマットにも対応した。

なお、Net MD 対応のデジタルオーディオソフト「BeatJam」の単体販売の予定はない。

なお、松下ネットワークマーケティングが運営するショッピングサイト「PanaSense (パナセンス)」で 100 セット限定のモニター販売が行なわれる。

(1/16)

日本 TI、低消費電力 DSP 2 製品を発表

日本テキサス・インスツルメンツ（日本 TI）は、低消費電力『TMS320C54x』コアで大容量オンチップ ROM を内蔵した DSP、『TMS320VC5407』および『TMS320VC5404』を発表した。

両製品は内蔵したオンチップ ROM により、外付けのメモリを必要とせず、わずか 50mW の消費電力で 120MIPS の高速処理を実現する。

特に『TMS320VC5407』は、既存製品の約 7 倍にあたる 120K ワードのオンチップ ROM を内蔵し、デジタルオーディオプレーヤーや携帯電話など低消費電力かつ大容量メモリを必要とし、また低価格で大量生産が要求される一般民生製品に最適としている。

また、両製品にはコストと消費電力を低減

するペリフェラルが豊富に搭載されている。

『TMS320C54x』DSP ファミリの製品としては初めて、ハードウェア UART を搭載し、マイクロ・コントローラや無線通信サブシステムとのインターフェースを簡素化している。

さらに、DSP ソフトウェア技術インフラ『eXpressDSP (エクスプレス DSP)』をサポートしており、複雑なソフトウェア開発の作業を大幅に簡素化できる。

両製品は、既に出荷開始されており、一万個受注時の単価は『TMS320VC5407』が 1,850 円、『TMS320VC5404』が 1,120 円。C54x 製品のスターター・キットと評価モジュールも、日本 TI の販売代理店を通じて提供される。

(1/16)

2001 年末の DSL 加入者数は 150 万超

総務省から 2001 年 12 月末時点の DSL 加入者数の速報が発表された。それによると加入者数は 1,524,348 でこれは前月末の 26.5% 増。増加率は前月から 4.2% 減。

内訳を見ると NTT 東西のフレッツ ADSL での加入者が 652,081、他事業者経由の xDSL 加入者が残りの 872,267 で、NTT 東西のシェアは 42.7% と 2.3% のマイナス。特に NTT 東日本エリアでは 39.6% と 40% を割り、東日本エリアで他事業者の展開が進んでいることが伺える。

(1/15)

リッスンジャパン、次世代デジタル音楽配信導入を検討

リッスンジャパンは、『Listen Radio (リッスンラジオ) 日本語版』のサービス停止と次世代デジタル音楽配信の導入を検討していることを明らかにした。

Listen Radio (リッスンラジオ) 日本語版のサービスは、2001 年 3 月から提供していたインターネットラジオサービス。これを、2002 年 1 月末日をもって一旦停止する。

また、米 Listen.com が 2001 年 12 月からサービスを開始している音楽サブスクリプション・サービス「Rhapsody」について、サービスの導入を検討していると明らかにした。

導入の時期等は決定次第改めて告知するとしており、明らかにはされていない。

Rhapsody はオンデマンドのストリーミングやインターネットラジオが利用できるサブスクリプション・サービス。独立系レーベルの他、BMG および EMI Recorded Music ともライセンス契約を結んでいる。

(1/12)

RealNetworks、コンシューマーデバイス向けに同社技術の提供に関する提携を発表

RealNetworks は、RealVideo や Real Audio をコンシューマーデバイスで楽しむことが出来るようにするための家電メーカーや半導体メーカーとの同社技術の提供に関する提携を発表した。

今回発表された提携は以下の通り

TiVo

TiVo のデジタルビデオレコーダーに RealOne Player を統合。TiVo 会員に向けて RealOne Music を提供する。

Moxi Digital

Moxi Digital の開発したホームエンターテインメントプラットフォームおよび Moxi Media Center に RealOne Player を搭載。

日立

日立は RealOne Player をモバイル製品やデジタルコンシューマー製品向け SuperH RISC プロセッサシリーズに最適化する。

NEC

NEC は RealOne Player を衛星放送 STB、Web Pad、PVR などのコンシューマー製品向け 64bit VR シリーズマイクロプロセッサプラットフォームに最適化する。

Philips Semiconductors

Philips Semiconductors の Nexperia プラットフォームと Trimedia ベースのプロセッサに RealOne Player を統合。

STMicroelectronics

STMicroelectronics は RealOne Player を STB や DVD プレーヤー向けの同社プロセッサに最適化する。

インターネットメディアは家庭向けデバイスに付加価値を与えるアプリケーションとなっており、RealNetworks のクロスプラットフォームインターネットメディアソリューションは多様な OS やプロセッサ上で動作可能となっている。

(1/12)

TiVo、Real と提携し DVR に音楽配信サービスを統合

米 TiVo は、RealNetworks と提携し、同社の DVR (Digital Video Recorder) ユーザーに対して、RealOne Player と RealOne Music により、音楽、ビデオなどのデジタルコンテンツの配信サービスを提供すると発表した。

今回の複数年契約の一環として、TiVo の次世代 DVR 「TiVo Series2」のデジタルミュージック管理ソフトウェアとして RealOne Player を統合する。

TiVo 上の RealOne Player により、ユーザーは外部 CD ドライブや PC から音楽 CD から TiVo 内の HDD に楽曲をコピーしたり、RealOne Music により音楽をダウンロードしたり、TV 画面で保存した音楽ファイルを管理、リモコンで操作し、携帯デバイスに楽曲ファイルを転送し、外部 CD-R ドライブで CD-R メディアへの書き込みが出来る。

また、TiVo ユーザーは TiVo サービスの申し込み時にオプションとして RealOne Music の月額会員に申し込むことが出来る。RealOne Music 会員は MusicNet プラットフォームを介してインディーズレーベルやメジャーレーベルから提供される楽曲のストリーミングやダウンロードが可能になる。

RealOne Player を統合した次世代 DVR 「TiVo Series2」は 2002 年下半年にリリース

予定。また、今回の契約には TiVo のライセンス供与先である家電メーカーなどにも RealOne Player と RealOne Music サービスの組み込み権が与えられる。

(1/12)

Thomson multimedia、低価格なデジタルメモ리카ード発表

Thomson multimedia は、デジタルカメラやデジタルオーディオプレーヤー向けに低価格のライトワンスメモ리카ードを Technicolor ブランドで発売すると発表した。

Technicolor Digital Memory Card は、Matrix Semiconductor の 3-D technology を利用した Matrix 3-D Memory を製品化したもの。書き込みが 1 回しか出来ない分、低価格を実現したとしている。

Thomson multimedia では、小型 MP3 プレーヤーの価格の半分、デジタルカメラにおいても価格の大きな割合をフラッシュメモリのコストが占めており、そのためユーザーは PC を利用せざるを得ないとしている。

Technicolor Digital Memory Card は既存のメモ리카ードと互換性を保ちながら 35mm フィルムと同程度になるため、ユーザーに新たなメモ리카ードの利用法を促すとしている。

ライトワンスメディアはメディアとしての信頼性も重要になるが、Technicolor Digital Memory Card は数十年間のデータ保持を保証している。

また、Technicolor は映画用フィルム、DVD、ビデオカセット、デジタルシネマの分野で信頼性のあるブランドとして知られており、Technicolor Digital Memory Card も同様にワールドワイドで 2002 年中に発売を開始する予定。

(1/12)

米 Moxi、Real と提携し Real One プレーヤーを統合した STB を発表

米 Moxi Digital は、RealNetworks と提携し、RealOne プレーヤーを Moxi のセットトップボックスプラットフォーム上のストリー

ミングメディアプレーヤーとして統合すると発表した。

Moxi Digital (Rearden Steel Technologies から改名) は、ホームエンタテインメントのプラットフォームを開発、ブロードバンド事業者を介してユーザーに提供するビジネスを進めている。

同社の主力製品は「Moxi Media Center」デジタルセットトップボックス、ビデオおよびミュージックジュークボックス、メディアサーバー、インターネットゲートウェイ、ファイアウォールを一つのコンパクトな筐体にまとめたもの。

Moxi Media Center には、TV 番組や映画、音楽、Flash アニメーションなどを素早く探し出して再生するシステム「Moxi Media Guide」、動画や音声の多くのフォーマットに対応する再生ソフト「Moxi Media Player」、HDTV や DVD、ペイ・パー・ビュー、VOD などにも対応する TV 番組録画機能「Moxi Personal Video Recorder」、デジタルオーディオファイル管理ソフト「Moxi Music Jukebox」、TV や PC、Palm などにビデオや音楽を有線または無線で転送できる機能「Moxi Media Network」を搭載されている。

今回の提携により、Moxi Digital Center に RealNetworks の RealOne プレーヤーが搭載され、Real 形式のストリーミングコンテンツを再生できるようになる。

また、Moxi Digital は米 Macromedia とも提携し、「Flash Player 5」も Moxi Media Center に搭載する。また、衛星放送事業者大手の EchoStar Communications が Moxi のソフトウェアプラットフォームを同社の衛星放送受信機に組み込むことを発表している。

(1/12)

有線ブロード、12 月末時点の進捗を発表

有線ブロードネットワークスは、ブロードバンド事業 (FTTH ブロードバンドインターネットサービス) について、2001 年 12 月末時点の進捗状況を発表した。

これによると、Webでサービスの申込みを行なった登録数が58,553件、工事日が確定している契約者数が9,565件、回線が開通している取り付け数が4,141件となっている。

11月末時点での数字と比べると、登録数で約6,200件、契約者数で約860件、取り付け数で650件の増加となっており、取り付け数の増加は前月より若干増えてはいるものの、登録者数の増加には追いついていない状態が続いている。

なお、12月には展開エリアが33から43に増え、ユーザーカバー数も約730,000に増やしている。

(1/11)

長谷工、利用者が通信速度を選べる超高速インターネットマンションを提案

長谷工コーポレーションは、インターネットの接続専用線として最大100Mbpsの通信速度を持つ光ファイバを引き込み、最大1GbpsのLANケーブルを棟内に敷設、住戸ごとに利用者が希望する通信速度を選択できる方式を採用した超高速インターネットマンションを商品化したと発表した。

今回商品化されたのは、メールやホームページの閲覧でインターネットを楽しみたいユーザー向けのコースと、今後の需給拡大が予想される動画映像や音声通信などのブロードバンドサービスを希望するユーザー向けのコースに、居住者の利用ニーズに合わせて選べるインターネットマンション。

最大10Mbpsのスタンダードと最大100Mbpsのスーパーの2つのメニューが用意され、将来の利用状況に応じて別のメニューに変更することも可能となっている。

ユーザー向けのサービス料金はスタンダードで基本利用料(月額)1,980円~2,500円、スーパーで基本利用料(月額)2,500円~3,500円、いずれも初期費用2,000円、その他保守・管理料として450円~1,000円(戸数による)と想定されている。

(1/11)

Intertrust、三洋電機の携帯プレーヤーに著作権管理技術を提供

Intertrustは、三洋電機が次世代携帯型デジタルオーディオプレーヤーのためにIntertrustからRights|System DRMのライセンス供与を受けたと発表した。

IntertrustのRights|Systemはマルチプラットフォーム環境をサポートし、既存のシステムの容易に統合できる軽さと柔軟性がある。

三洋電機は、Rights|Systemコンポーネントが動作するサーバやPC、セットトップボックスなどと協調して動作するためにRights|PD DRMを同社の携帯型デジタルオーディオプレーヤーに搭載する。

具体的なプレーヤーの仕様や発売時期は明らかにされていない。

(1/11)

有線ブロード、首都圏中高層住宅協会とFTTHの包括的な導入に関する覚書を締結

有線ブロードネットワークス(usen)と首都圏中高層住宅協会(都中協)は、usenの提供する光ファイバを使った超高速インターネット接続サービスの包括的な導入方式に関する覚書を締結することで合意したと発表した。

本契約に基づき、usenの提供する光ファイバーインターネット・サービス『BROAD-GATE 01』が、都中協会員デベロッパーが建設するマンションに提供される。

このサービスでは、上り下り最大100Mbpsという家庭用サービスとしては世界最速のインターネットと共に、4,300以上(平成13年11月30日現在)もの映画や音楽等ブロードバンドコンテンツが利用できる。

都中協は、事業用マンション、主に『ステューディオ』(ワンルームマンション)を首都圏で供給するデベロッパーの団体として、1995年7月に19社加盟のもと発足。その後、1999年10月から「首都圏中高層住宅協会」として活動、2001年12月現在、加盟社数は22社。

首都圏のワンルーム市場の約8割を都中協

が供給しており、2001年度総供給戸数は4,000戸、2002年度は5,000戸を予定している。

今後usenは、都中協の供給する新築及び、既存マンションへのシステムの標準化を検討していくとしている。

(1/10)

NTT-ME、新規公団賃貸住宅向けに格安ブロードバンドサービスを提供

エヌ・ティ・ティ エムイー(NTT-ME)は、都市基盤整備公団が提供する新規の賃貸住宅を対象に、100Mbpsの常時接続型超高速インターネット接続サービス「bb-east」を月額1,750円で提供開始したと発表した。

bb-eastは、新築のマンションをはじめ既設マンションも含めた集合住宅向けにNTT-MEが提供している総合的なブロードバンドインターネット接続事業「WAKWAKビアル」の一環として提供される。

対象は都市基盤整備公団が2003年度までに首都圏で提供する新規の賃貸住宅2万2千戸。2001年12月より提供開始し、2001年度末までに7,000戸程度、2003年度までに2万2千戸に提供する予定。

サービスのインフラとして、住棟内は都市公団が設置する100Mbpsの伝送能力を持つEthernet方式、アクセス回線には100Mbpsの伝送帯域を持ったベストエフォート型の通信回線「Bフレックス・ビジネスタイプ」などを利用する。

さらにXePhion上に本サービス専用のブロードバンドバックボーン(1Gbps)を新たに用意し、インターネットバックボーンに直結する。

基本メニューは月額利用料金が1,750円(税別)、サービス内容として1メールアドレスと10MBホームページが含まれる。

また、電話、FAX、電子メールによる24時間受付の無料ヘルプデスクも用意されるほか、ブロードバンド対応ポータルサイト「WAKWAKキャスト」の利用(コンテンツにより別途有料)も可能となっている。

さらに、オプションメニューとして、IP 電話サービス「WAKWAK コール・ゴー」、ビデオチャットサービス「WAKWAK パーティ」、ネットワーク対戦ゲームサービス「わくわくジョイランド」、メールサービス「WAKWAK メールプラス」、インターネット環境構築サービス「パソコンセットアップサービス」(仮称)などが用意される。

NTT-MEでは、入居者向け情報発信を支援するため、ユーザーの Web ブラウザに任意の情報を表示できる「ポータルリダイレクション機能」を活用し、入居者及びその周辺住民との情報交流を支援するサービス(地域コミュニティ情報サービス)を進めていく。

なお、都市基盤整備公団で導入されている LAN システムと同レベルで一定の技術性能が確保されている他事業者のマンションに対しても、月額 1,750 円にてインターネット接続を提供するとしている。

(1/10)

Gracenote、Philips と提携し音楽 CD 認識技術をオーディオデバイスに提供

Gracenote は、Philips と提携し、Philips のブロードバンド対応ミニコンポ「Streamium MC-i 200」に音楽 CD 認識技術を提供すると発表した。

Streamium MC-i 200 はブロードバンドインターネットを介して、各オンラインミュージックサービスを楽しむことの出来る世界初のミニコンポシステム。2002 年中頃の発売が予定されている。

Gracenote は、ネット上で楽曲を認識し付帯情報を提供するサービスを Cddb として提供している。2001 年より Cddb と同等の機能を PC 以外のデバイスでも実現できる家電メーカー向けのソリューションを開発、提供している。

(1/10)

Portal Player、Maxtor と提携し OEM 向けデジタルオーディオプラットフォームを共同開発

Portal Player は、Maxtor と提携し OEM

向けデジタルオーディオプラットフォームを共同開発すると発表した。

今回の提携により、両社は Maxtor の QuickView 大容量ハードディスク技術と Portal Player のデジタルメディア技術を統合したコンシューマー向けデジタルオーディオプラットフォームを OEM、ODM 向けに開発する。

Maxtor の QuickView はテープや光学メディアを使わずにデジタルコンテンツを保存再生する技術。Quiet Drive 技術も含まれており、コンシューマー向けにドライブ駆動のノイズも低減されている。

このプラットフォームはコンテンツの著作権保護や著作権管理機能も搭載しており、デジタルオーディオジョックボックスやミニコンポなどハードディスクを搭載したデジタルオーディオプレーヤーの OEM/ODM 事業者に開発期間の大幅な短縮を可能にする。

(1/10)

TI、同社の DSP が Panasonic の DVD プレーヤーに採用と発表

Texas Instruments (TI) は、世界で初めて WMA 再生機能を搭載した Panasonic の DVD プレーヤー「DVD-RV32」に同社の DSP が採用されたと発表した。

Panasonic DVD-RV32 に使われているのは、low-power TMS320DA105 DSP。これにより DVD-R、CD-R/RW といったメディアに対応し、MP3、WMA の再生ができる。

なお、DVD-R の再生は Panasonic の DVD ビデオレコーダー「DMR-E20」でファイナライズされたもののみがサポートされる。

(1/9)

米 Liquid Audio、オーディオプレーヤーソフトの新バージョン発表

米 Liquid Audio は、デジタルオーディオプレーヤーソフトウェアの新バージョン「Liquid Player6.1」の Windows 版をリリースした。Liquid Player Special Edition (SE) 6.1、Liquid Player 6.1、Liquid Player Plus 6.1 の 3 種類が提供される。

対応圧縮コーデックの再生は AAC、ATRAC3、WMA、MP3、エンコードは Liquid Audio、MP3、WAV、WMA に対応する。新たなバージョンでは CD-R への MP3 および WMA ファイルの書き込み機能に関して 24 倍速のドライブにまで対応したことが大きな特徴。

Liquid Player Special Edition (SE) 6.1 は OEM 向けの製品。主にコンシューマーデバイスメーカー向けに提供され、接続する Web サイトやインターフェースを提供先の企業のものにする。既に Freecom、Palm、Plextor、三洋電機が採用しており、新たに Fellowes が NEATO CD ラベルキットに、ヤマハが 2002 年始めにリリース予定の CD-R/RW ドライブ「CRW 3200」にバンドルを決めている。

Liquid Player 6.1 は無料で提供される機能限定版、Liquid Player Plus 6.1 は \$19.95 で販売されるフル機能版。Liquid Player 6.1 は WMDM もサポートし、Creative Lab、SONICblue の主なポータブル製品への楽曲ファイルのセキュアな転送にも対応している。

Liquid Player 6.1、Liquid Player Plus 6.1 は、同社のサイトからダウンロード可能となっている。対応 OS は WINDOWS 98、ME、NT 4.0 (SP5 以上)、2000、XP。

(1/9)

米 Microsoft、Mac OS X 用 Windows Media Player 発表

米 Microsoft は、Mac OS X 用のメディアプレーヤー「Windows Media Player for Mac OS X」を発表した。

Windows Media Player for Mac OS X は、Mac OS X ネイティブで動作する Carbon API で作られており、ユーザーインターフェイスも他のアプリケーションソフトと同様に Aqua 調のものとなっている。

コーデックは最新の Windows Media Audio 8 / Video 8 をサポート、Windows Media Digital Rights Management の著作権保護方式にも対応している。

6ヶ国語に対応し、既に同社のサイトで無

償ダウンロード可能となっている。対応 OS は Mac OS X ver.10.1 以上。Microsoft Office v. X にも同梱される。

(1/9)

米 SONICblue、HDD 内蔵オーディオプレーヤー「Rio Riot」発表

米 SONICblue は、20GB の HDD を内蔵した携帯型オーディオプレーヤー「Rio Riot」を発表した。

Rio Riot は、再生フォーマットとして MP3 と WMA に対応。ファームウェアのアップグレードにより新しいフォーマットにも対応可能となっており、Audible には対応予定。

240 x 160 ピクセルの大型バックライト付き液晶ディスプレイを搭載、FM チューナーも内蔵する。

16MB の SDRAM をバッファとして搭載しており、12 分間以上のスキップ防止のほか、再生時に HDD を停止できるためバッテリー消費の節約と素早い楽曲検索を可能にしている。

また、Rio Riot には新たに開発された Rio LogiTrack インターフェイスが統合されている。

これは、スクロールホイールとワンタッチボタンによる快適な操作性と、数千の楽曲を曲名、アーティスト名、アルバム名、発表年、ジャンル、好みに応じて簡単に並び替えることのできるビジュアルメニューシステム、ユーザーの好みを記憶しオリジナルのプレイリストを自動的に生成する Rio DJ playlist creator から構成され、20GB の HDD に保存された 5000 曲以上の楽曲を素早く簡単に検索し再生できるようになっている。

パッケージにはヘッドフォン、専用キャリングケース、AC アダプターが付属する。ソフトウェアは Windows 用に RealJukebox と Macintosh 用に iTunes がバンドルされる。さらに MoodLogic の音楽管理ソフトも付属し、ID3 タグ情報を整理できるほか、自動的に楽曲を分類、おすすめ曲や嗜好に基づくプレイリストを生成し共有することができる。

Rio Riot の価格は\$399.95。SONICblue の

サイトで予約注文を受け付けているほか、2002 年 2 月末には北米の量販店店頭で販売開始となる予定。

(1/9)

東芝、Bluetooth を利用したユビキタス・ヘッドセットを開発

東芝は、Bluetooth の無線通信技術、音声認識技術などを用い、ハンズフリー環境でワイアレスに言葉による機器コントロールや高音質なオーディオ入出力などを可能にする次世代コミュニケーションツールであるユビキタス・ヘッドセットを開発したと発表した。

これは、世界初のヘッドフォン型 Bluetooth モバイル端末と位置づけられており、個人と身のまわりのデジタル機器や家庭電器製品とのウェアラブル環境での新たなパーソナルネットワークの構築を実現するものとしている。

機能としては、音声認識エンジンを搭載しており、装着者の声を音声認識してコマンドに変換、パソコンや身の回りの機器にワイアレスに伝送することでハンズフリーでの機器の操作が可能となる。また、装着者の口述する音声をそのまま高音質（PC 互換の 22.05kHz サンプリング音声）で送信し、指定された記憶メディアに記録することもできる。

また、モバイルパソコンや携帯オーディオ機器などから送信される音楽データをワイアレスで受信し、CD 並の高音質で再生することができる。これは、東芝も参加している Bluetooth SIG の AV ワーキンググループで標準化作業中の AV プロファイルに準拠するもの。

パッケージングはマイクロプロセッサ、Bluetooth モジュール、アンテナ、メモリ、リチウムイオン二次電池などの高密度実装により、重量 100g 以下の軽量化を実現しており、2002 年中の商品化を目指して開発を進めていくとしている。

(1/9)

コムテックス、PC なしでネット接続を可能にする eDevice 社製品の販売を開始

コムテックスは、PC を使うことなく様々な機器のインターネット接続を可能にする eDevice 社の「SmartStack シリーズ」の販売を開始した。

SmartStack シリーズは、インターネット接続・通信が必要となる全てのインターネットプロトコルだけでなく、アナログ電話（ソフトウェアモデム）またはイーサネット等の物理レイヤー、及びユーザーアプリケーションをワンチップ DSP 上で処理。組み込み先のハードウェアを容易にインターネットに接続し、E-Mail の送受信（ファイル添付可能）・データの送受信を可能にする。

また、組み込み先のハードウェアの設計変更をしなくとも、組み込む SmartStack シリーズのモジュールを変更するだけで、アナログ電話・イーサネット等、複数の通信方式に対応させることができる。

アプリケーションとしては、自動販売機に SmartStack を内蔵し、各製品の販売数量・機器の故障情報を E-Mail で遠隔地で把握し販売機会の損失を無くした効率よい運用のサポートや、場所、時期などを含めたマーケティング情報としての活用などが考えられ、実際にヨーロッパではエスプレッソマシンでの実績がある。

他にも、デジタルカメラ、テレビ、電気・ガス・水道などの各種メーター、コピー機、MP3 プレーヤーなどが考えられている。

現在のモジュールのラインナップはアナログ電話とイーサネットだが、PHS・省電力無線・電力モデム・ブルートゥース等に対応した機種のリリースも予定している。

(1/8)

米 Microsoft、主要 DVD プレーヤーメーカーが WMA をサポートと発表

米 Microsoft は、Panasonic、Apex Digital Inc.、Shinco (Jiangsu Shinco Electronics Group Company Ltd.)、Toshiba Corp. が

DVD プレーヤーの新モデルに Microsoft Windows Media Technologies を採用したと発表した。

具体的にはこれらのメーカーが製造する DVD プレーヤーで、CD-R/RW や DVD-R メディアに記録された Windows Media Audio (WMA) ファイルを再生することが出来るようになる。

Apex Digital は、AD-1600 から最高級モデル AD-7702 まで新機種 6 モデルすべてで WMA をサポート。いずれも WMA、Kodak PhotoCD、MP3、高音質 CD「HDCD」の再生に対応し、ファームウェアによるアップグレードも可能となっている。さらに、AD-7702 では SACD (スーパーオーディオ CD)、DVD オーディオ、5.1ch Dolby サラウンドの再生にも対応する。

Panasonic では、最初の WMA 対応 DVD プレーヤー製品として「DVD-RV32」が全米で 2002 年 2 月から発売される予定となっている。

中国の大手 DVD プレーヤーメーカーである Shincos、東芝も 2002 年中に発売する DVD プレーヤー製品で WMA をサポートする計画としている。

既に 2001 年 12 月には市場の 90%以上を占める主要な DVD プレーヤー用チップメーカーが Microsoft Windows Media Audio and Video のサポートを表明しており、今回の発表はそれを具体的な製品にまで明らかとしたもの。

(1/8)

米 SONICblue、Coca-Cola と戦略的提携。共同ブランドのオーディオプレーヤーを発売へ

米 SONICblue は、Coca-Cola 社との間で Coca-Cola と Rio の共同ブランドとなるデジタルオーディオプレーヤーを米国内で販売するライセンス契約を締結したと発表した。

デジタルオーディオ技術における SONICblue の強みと消費者に対する COCA-COLA のブランド力によって、SONICblue は新たな販路を開くとしている。

Coca-Cola と Rio の共同ブランドとなるデジタルオーディオプレーヤーは 2002 年上半期にリリースされる予定。製品の仕様など詳細は後日発表される。

(1/8)

Evolution Technologies、MTV、DataPlay、DataPlay 対応デジタルオーディオプレーヤーを発表

Evolution Technologies、MTV、DataPlay の 3 社は、世界初の DataPlay 対応デジタルオーディオプレーヤーを発表した。

このプレーヤーは 3 つの機能を併せ持っている。

1 つはユーザーが録音した、もしくはすでに録音済みのパッケージとして販売される DataPlay メディアの再生プレーヤーとしての機能。対応する圧縮方式は MP3、AAC、QDX で、いずれも著作権保護が施される。

2 つ目の機能はレコーダーとしての機能。著作権保護機能を搭載した PC ソフトウェアが用意されており、楽曲ファイルをセキュアな形式で DataPlay メディアに録音することができる。PC とのインターフェースは USB1.1。

3 つ目の機能は外部記憶装置としての機能。標準 Windows フォーマットのファイルを DataPlay メディアに保存することができる。ライトワンスのため書き換えはできない。

大きさは 75 x 83 x 23mm、128 x 64 ピクセルの液晶ディスプレイを搭載する。電源はリチウムイオン充電電池を内蔵している。

このプレーヤーは MTV のブランドで Evolution Technologies から 2002 年 4 月に発売される予定。

(1/8)

三菱電機、10Mbps 高速電力線モデムを開発

三菱電機は、米 INARI 社と提携、10Mbps 以上の高速家庭内電力線モデムを共同で開発し、2002 年春より北米ならびにアジア向けに

発売を開始すると発表した。

INARI 社は米国で 14 万台以上の家庭内電力線モデムの製造・販売実績を持っており、三菱電機は共同で 1.7MHz ~ 30MHz の高周波数帯域を使用した 10Mbps 以上の伝送能力を持つ電力線モデムを開発する。

現在の日本国電波法では、この帯域での国内利用は許可されていないため、まず、2002 年春に北米ならびにアジア向けに 2Mbps の電力線モデムの発売を開始する。

日本国総務省では電力線の利用に向けて 1.7MHz ~ 30MHz の帯域の規制緩和を検討しており、周波数帯の規制が緩和され次第、国内でも発売を開始する。

電力線モデムは既存の電力線を使用し、住宅内のパソコン用配線が不要でコンセントにプラグを差し込むだけで高速インターネット接続が可能のため、これからの家庭内高速通信インフラの重要な役割を担うものと期待されている。

三菱電機では、将来、さらに高速の 50Mbps 電力線モデムの市場投入を計画しているとして

(1/8)

ナカミチ、SoundSpace2 にカラーバリエーションを追加

ナカミチは、デジタルオーディオプレーヤー SoundSpace2 に 6 色のカラーバリエーションモデルを追加する。同社サイトからの直接販売のみで 2002 年 1 月 21 日より販売受付開始をする。

SoundSpace2 は、着脱可能なデジタルオーディオプレーヤーを装備したハンディステレオミュージックシステム。本体には 1.5cm の L/R サテライトスピーカーと 8cm サブウーファーを搭載、海外バンドの受信設定も可能な FM/AM チューナーが内蔵されている。

デジタルオーディオプレーヤーは MP3 と WMA に対応、記録メディアは ID 付きスマートメディアを利用する。PC とのインターフェースには USB を採用、「ボイスメモ機能」も搭載する。

今回設定されるのは、オニクスブラック、スターリングシルバー、ミントグリーン、ネイビーブルー、アクアブルー、コーラルピンクの6色。各色20台ずつの限定で販売価格は66,000円(税別/梱包送料別)。なお、スマートメディアは付属しない。

(1/8)

ニフティ、個人アーティストの自作曲有償配信サービス「Net Debut@nifty」の提供を開始

ニフティは、「@nifty(アット・ニフティ)」において、オリジナル楽曲をインターネット上から有料配信できるサービス「Net Debut@nifty(ネット・デビュー・アット・ニフティ)」を2002年1月7日から提供開始すると発表した。

このサービスは、@niftyが提供する音楽ポータルサイト「Music@nifty」内で提供される。オリジナル楽曲を持っているアーティストを対象に事前に登録料を徴収し、サイト内に各アーティストごとのページを作成、そこから音楽配信プラットフォーム「Digital Music Store」のシステムを通じて個人の楽曲を有料配信するもの。

有料配信は1曲100円で@nifty会員向けに提供され、配信楽曲はWMA形式。「Digital Music Store」の提携先であるリオポートの配信技術により著作権保護を施されて配信される。

アーティスト側への料金は、アーティスト登録料が1組につき5,000円、楽曲登録料が1曲につき6ヶ月有効で3,000円となっている。登録後6ヶ月経過した楽曲は1曲につき2,000円の登録更新料で6ヶ月間延長できる。

登録された楽曲の著作権管理については、イライセンスとの提携により、配信売上の半分に相当する楽曲使用料および著作権印税を分配することを可能にしている。

楽曲の登録は2002年1月7日から開始し、本サービスは2002年2月1日からスタートする。オープニングキャンペーンとして、2002年1月31日までアーティスト登録料と楽曲登録料(1曲)を5,000円(通常8,000円)で登録を受け付ける。

登録されたオリジナル楽曲には、大手音楽メーカーのディレクターや著名音楽プロデューサーの推薦文などを掲載していく予定。また、「Music@nifty」のオーディション企画「@nobis」とも連動し、この企画からもCDデビューできる可能性があるとしている。

(1/7)

オンキヨー、英 Imerge と次世代ホームオーディオ分野で技術提携

オンキヨーは、英 Imerge(アイマージ)と技術提携を結び、ハードディスクやインターネットによる次世代の家庭内音楽配信システムの商品開発に本格的に乗り出すと発表した。

今回の提携により、オンキヨーは同社が開発したネットワーク端末用ソフトと Imerge のサーバ用アプリケーションソフト「XiVA(ジーヴァ)」とを統合し、デジタルホームネットワークシステムとしてオンキヨーのプレミアムブランド「Integra(インテグラ)」で展開する。

このデジタルホームネットワークシステムは、パソコンや専用ハードディスクユニット(ミュージックサーバー)に楽曲をPCMやMP3などのデータファイルとして保存しておき、家庭内に配線されたイーサネットケーブルやワイアレス LAN を通じて、各部屋に設置されたクライアントユニットからコントロールするもの。

各クライアントとサーバとのプロトコルには、Imerge の XiVA をベースに開発した、オンキヨー独自のカスタムブリッジを採用。これにより、クライアントから曲のタイトル、アーティスト別検索や、カテゴリ別検索など、多彩な操作環境を提供できる。

各部屋に設置するクライアントには、現行の AV センターをアップグレードする形態、フルサイズあるいはミニシステムとのデザインマッチングを考えたもの、壁掛けあるいは壁に埋め込むスタイルのものなどを検討している。

オンキヨーでは、これらの各種ハード機器を Integra ブランドで商品化、2002年夏に米

国での導入を予定している。

(1/7)

米 TI、ホームエンタテインメント向けネットワーク製品を披露

米 TI は、1月8日から11日までラスベガスで開かれる CES(Consumer Electronics Show)にて、IEEE1394b 準拠のホームネットワーク製品を披露すると発表した。

今回披露されるデモンストレーションでは、100m のカテゴリ-5 ケーブルを介して IEEE1394 準拠の信号をやりとりするもの。これにより、リビングから個々の部屋のオーディオ/ビデオデバイス間のコミュニケーションを可能にする。

IEEE1394b は現行の IEEE1394a と下位互換性を持っており、伝送距離は 4.5m から 100m へ、伝送速度は 800Mbps へと向上している。また、伝送媒体についても銅線のカテゴリ-5 ケーブル、プラスチック製光ファイバ(POF)、ガラス製光ファイバ(GOF)がサポートされている。

TI では今回のデモンストレーションをより安価なカテゴリ-5 ケーブルにより IEEE1394 ネットワークを構築できることを証明し、デジタルエンタテインメント機器を中心としたホームネットワークの普及を促進するものとしている。

(1/3)

NTT コム、来春の本格サービスに向けて Hi-FIBE の接続実験を継続

NTT コミュニケーションズは、2001年7月より開始している公衆エリアを活用した無線 LAN インターネット接続実験(実験名称:ハイファイブ)を来春のサービス化への準備期間として2002年1月以降も継続すると発表した。

この実験は、家庭やオフィス・学校で利用しているパソコン+無線 LAN の環境をそのまま外出先に持ち出して活用するというコンセプトのもと、人の多く集まるホットスポットにブロードバンドインフラを敷設し、IEEE802.11b をベースにした世界標準規格

(Wi-Fi 認定)に準拠したシステムを構築している。

現在までにホットスポットは、モスバーガー、品川プリンスホテル、ミニストップ、ブレズコーヒーなど14ヶ所になっている。

1月からの実験には「11~12月からオープンしたホットスポットでのマーケティング」「モスバーガー神田北口店でのIPv6接続実験」が加わる。なお、Hi-FIBEのオリジナルコンテンツは一旦終了となる。

(12/28)

サムスン電子、デジタルオーディオ機器用SOC製品を開発

サムスン電子は、16bit MCU チップと、24bit DSP(Digital Signal Processor)、96MB SRAM、LCD コントローラ、USB(Universal Serial Bus)等を One Chip にした次世代モバイルオーディオ機器用の基幹半導体となるSOC(System On Chip)製品を開発したと発表した。

今回発表された SOC 製品は、サムスン電子の自社IPであるCalmRISC Coreを適用したMCU及びDSP機能をワンチップ化したもの。消費電力も140mWと抑えているのが特徴。

ファームウェアによってMP3やACC、WMAなどの再生およびエンコードも可能。MIDIやSound Effectなどへの応用も可能となっている。

また、秒当り10カットのカラーイメージ処理が可能で、チップ内蔵のLCDコントローラ経由でカラー液晶画面の表示が可能になり、音楽再生と同時に楽譜や字幕などを表示することができる。

このSOC製品は2002年1月より本格量産を開始予定。なお、2002年上半期中にはMCU性能を32Bitに向上させた製品の出荷も予定している。

サムスン電子では、この製品の特徴であるオーディオ再生と圧縮技術をベースにし、今後デジタルテレビやDVDプレーヤー、セットトップボックスなどのデジタル音楽ファイ

ルを必要とする製品へのアプローチを強化していくとしている。

(12/26)

米 Mediafour、Windows ユーザー向け iPod クライアントソフトの Technology Preview 2 を公開

米 Mediafour は、アップルのデジタルオーディオプレーヤー「iPod」を Windows PC と接続できるようにするためのクライアントソフト「XPlay」の Technology Preview 2 を公開した。

XPlay は、11月に開発を発表していたアップルのデジタルオーディオプレーヤー「iPod」を Windows PC と接続できるようにするためのクライアントソフト。当初の発表では「XPod」という名称だったが、Technology Preview 1 からは「XPlay」に変更されている。

今回公開された Technology Preview 2 では、Technology Preview 1 での機能に加え、新たに楽曲ファイルの iPod への転送が可能になっている。楽曲の転送にはエクスプローラーもしくは Windows Media Player が利用できる。

対応 OS は、Windows Me、98、95、NT 4.0、2000、XP。iPod との接続インターフェースである FireWire (IEEE1394) も必要。

ただし、まだ iPod 内の楽曲ファイルを削除することはできず、プレイリストの作成もできない。また、データが壊れたり消失する危険性についても注意を促している。

(12/25)

EMD Magazine 第12号

発行 2002年1月28日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース